

試験に臨む受験生=14日、八戸学院光星高



高校受験シーズン幕開け

青森県内私立入試 1万147人が挑戦

青森県内の私立高校入試が14日、17校で一斉に行われた。本年度は1万147人が試験に挑み、本格的な高校受験シーズンが幕を開けた。合格発表は21日。私立に続き、3月8日には県立高校入試が行われる。

県総務学事課によると、募集人員は全体で4100人。平均倍率は2.47倍で、前年度より0.04倍低い。

八戸学院光星は、八戸、三沢、十和田3市の会場で試験を実施した。八戸市の

会場となった同校には、受験生が試験開始の1時間以上前から来場。緊張した様子で、1教科目の国語の試験に臨んだ。インフルエンザによる欠席のほか、別教室で試験を受けた生徒もいた。

県内では、17校中13校で、計53人がインフルエンザのために欠席。県南では、八戸学院光星や千葉学園、八戸工大一、八戸学院野辺地西が別日程の試験で、八戸工大二が書類審査でそれぞれ対応する。

(金澤一能、福田駿)